

## 四分の三発表会に向けて ～ポスターを作り始めよう3～

ポスターづくりの第3弾です。ポスターに図や写真、表を入れるときのマナーについてです。

### 【グラフの作り方】

#### ①色使い

グラフはカラーで作りますが、モノクロで印刷したときに区別がつかないといけません。右の上のグラフと下のグラフを見てください。学級通信はどうしてもモノクロ印刷です。上のグラフは●と実線で表記してあるので、AとBのグラフを区別するのが難しいですね（少し濃さが違います）。一方で下のグラフは、●と実線、■と破線…で表記してあるので、モノクロでも区別できるはずです。

#### ②物理量と単位

縦軸、横軸には物理量（速さ、時刻）と単位（m/sとs）を必ず入れてください。物理量とは「速さ」「時刻」「加速度」等を指し、「v」や「t」「a」のようにアルファベットで表してもかまいません。ただし、必ず斜体にしてください。単位はわかりますね。単位は[m/s]や[s]のように括弧〔 〕にいれ、ブロック体を使用します。

#### ③グラフ中の線

右上のグラフは説明の都合上、折れ線グラフで示しています。この図のように折れ線グラフにするか、それともこの測定結果が誤差の範囲で一次的に、つまり直線的に変化しているか（右下）は、君たちがこの現象をどう考えているかです。つまり、線を入れるということは、何かしらの主張をしていることです。逆に言うと、よっぽど自信が無い限り線を入れてはいけません。わからないときは、担当の先生と相談しましょう。

#### ④凡例

—●—や…■…が何を表すのかを示すものを凡例と言います。右下のグラフでは上の方に書いてあります。どこに書くかの決まりは特にありませんが、メインのグラフの邪魔にならないように注意してください。

#### ⑤キャプション

「グラフ1 チョロQ始動後の時刻と速さの関係」のようなグラフのタイトルをキャプションといいます。「表」は表の上の記入します。「表」以外、例えば「図」「写真」「グラフ」は下に記入します。キャプションはグラフや図の本質を表す内容にしましょう。実際に発表を見に来た人は、キャプションとグラフの大きな形で、まず判断します。そして、面白そうと思ったら、グラフの内容をじっくりと確認します。

#### ⑥本分とグラフや図

論文の場合は、必ず本文中にグラフや図の説明を書きます。ポスターの場合は、どのくらいスペースがあるかどうかで判断します。

ただし、グラフや図の特徴は、必ずポスターの本文（といっても箇条書きの場合が多い）に書いてください。君たちが主張したいグラフの特徴を本文に書き込まなければ、ポスターを見ている人たちは、もしかしたら違うところに注目してしまうかもしれません。

#### ⑦その他

上のグラフは全体が四角い線で囲まれています。下のグラフは囲まれていませんね。ExcelやGoogleスプレッドシートを何気なく使うと、上のグラフのように四角い線でグラフが囲まれてしまいがちですが、これは不可です。下のグラフのようにしてください。

**それではポスターにチャレンジ！**

